

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		国の基準（児童1人当たり247㎡）を満たし、基準以上のスペースを確保しています。	個別・集団など教育内容に応じて、机の配置を変更するなど、環境面の工夫をさらに進めてまいります。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	5		国の基準に基づき、児童発達支援管理責任者・管理者を各1名以上配置し、定員に応じた職員数を確保しています。基準配置以上の職員体制を整えております。	急な欠勤や送迎時間の重複などが生じた場合も、児童の安全に十分配慮し、支援を継続できるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		室内は段差がなく、安全に移動できる環境を整えています。	エレベーターを完備し、室内はバリアフリーで車いすでの移動も可能です。引き続き、児童の特性に応じた環境配慮を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		学習終了後、その都度、使用した机・椅子・ロッカー等の消毒を徹底しています。	今後もよりいっそう、児童が心地よく過ごすことができるよう、清潔な環境を心がけてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童の特性に応じて、個室を活用した療育を行っています。	今後も、児童の特性や必要な環境設定に合わせ、個室の活用を継続してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		日々の引き継ぎの中で課題や目標を共有し、改善につなげています。	今後も、PDCAサイクルに基づく業務改善に、全職員で取り組んでまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的にアンケートを実施し、いただいたご意見・ご要望は職員間で周知し、検討のうえ順次改善に努めています。	保護者様の意向を丁寧に把握し、業務改善に確実ににつなげてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティングや引き継ぎで意見交換を行い、情報共有を進めています。	今後も、ミーティングや引き継ぎを通じて意見交換・情報共有を継続してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価の導入については、今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内研修を計画・実施し、参加した研修内容は資料等で共有し、資質向上に努めています。	今後も外部研修にも積極的に参加し、職員の資質向上をさらに図ってまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムは公式Webサイトで公表しております。	引き続き、公式Webサイトで適切に公表してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者様のニーズや児童の状況・課題を把握し、支援計画に反映できるよう努めています。	今後も適切なアセスメントを行い、保護者様の意向や児童の課題を踏まえた計画作成に努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援会議を実施し、児童発達支援管理責任者と専門職を中心に意見を出し合い、共通理解のもと支援計画を作成しています。	引き続き、職員間で意見を共有しながら、より良い支援計画の作成に努めてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援会議等で計画内容を共有し、計画に沿った支援ができるよう全職員で確認しています。	今後も共通理解の徹底と情報共有を継続してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたアセスメントツールを用いた状況把握に努めています。	今後も統一したアセスメントツールを活用し、状況把握の質を高めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに基づき、保護者様の意向や児童の課題に合わせて支援計画を作成しています。	ガイドラインに基づき、保護者様の意向や児童の課題に合わせて支援計画を作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		専門職を中心に意見を出し合い、チームで立案し支援プログラムを実施しています。	今後も職員全体で検討を重ね、より良いプログラム作りに努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		児童一人ひとりに合わせ、多様な体験ができるよう工夫しています。	今後も、児童に合った療育活動となるよう内容を検討し工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童の状況に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成し支援しています。	発達段階・年齢・保護者様のニーズを踏まえ、より適切な計画作成に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		必ず実施できない日もありますが、必要な情報共有ができるよう努めています。	ミーティングや引き継ぎを活用し、共通理解のもと連携した支援を徹底してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		ミーティングや引き継ぎを活用し、共通理解のもと連携した支援を徹底してまいります。	今後も振り返りの機会を確保し、情報共有を確実にしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個人経過記録の記入と日々の話し合いで情報共有し、支援の検証に努めています。	引き続き記録の徹底と共有により、支援の質向上を図ってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		児童発達支援管理責任者や専門職を中心に、半年以内定期的にモニタリングを実施し、見直しの判断をしています。	保護者様の要望に沿った支援が行えるよう、計画の見直しを継続してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者や、対象児童の状況を把握している職員が会議に参画しています。	今後も担当者会議には専門職や児童発達支援管理責任者が参加し、連携を継続してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて担当者会議等で関係機関と連携し、情報共有のうえ支援を行っています。	引き続き、必要に応じた連携・情報共有を継続してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		担当者会議等を通じ、関係機関と情報共有し支援に反映しています。	今後も相互理解と連携を継続してまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		移行先を交えた担当者会議で、事業所での様子を伝え情報共有を行っています。	必要に応じて会議を設定し、情報共有を継続してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		担当者会議等で併用事業所・相談支援専門員等から助言を得ています。	今後も専門機関との連携を深め、助言や研修の機会につなげてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	交流機会の確保を検討していますが、現時点では実施できていません。	今後、交流の機会を設けられるよう検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの発達状況や課題について共通理解を求めているか。	5		連絡帳の記入や家族支援を通じ、共通理解を図っています。	今後も日々の様子や課題を丁寧に伝え、共通理解の深化に努めてまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		情報提供は行っているものの、研修開催には至っていません。	家族が参加できる研修等の機会を設けられるよう検討してまいります。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の際などに担当者がおこなっております。	今後も契約の際などに担当者が丁寧に説明をおこなってまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童発達支援管理責任者と専門職が中心となり、保護者の意見を踏まえて支援計画の作成をおこなっております。	今後も、定期的にモニタリングをおこない、保護者様の要望に沿った支援をおこなえるよう、定期的な見直しをおこなってまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		保護者様に支援計画や支援方法を説明し同意を得ております。	今後も、支援計画の説明を分かりやすく明確に出来るよう努めてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		現在、家族支援を通して支援をおこなっております。	今後も必要に応じて助言や支援をおこなうよう努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	本年度も保護者会を開催できておりません。今年度は開催することができよう保護者様の御意見をうかがい、保護者様と職員、保護者様同士が交流できるような機会を検討してまいります。	通所利用を知られたくない保護者様もおられますので、ご意向をうかがいながら検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		適切な対応を取り、再発防止に努め、職員間で情報共有をおこなっております。	今後も引き続きご相談や申し入れについては、迅速かつ丁寧にに対応してまいります。
	41	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		年4回のCOMPASSを発行し、毎月事業所所長よりご案内しています。また公式Webサイトで事業所での様子をお伝えしております。	今後も公式Webサイトで事業所での様子をお伝えしております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	今後も個人情報の取り扱いについては慎重におこない、施設できる場所に保管をおこなってまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童1人ひとりに伝わりやすい方法で伝えるよう努めております。	今後も児童1人ひとりに伝わりやすい方法で伝えるよう努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	今年度、行事に地域の方々をご招待する企画はおこなっておりません。	通所利用を知られたくない保護者様もおられますので、ご意向をうかがいながら検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練をマニュアルに沿っておこなっております。	今後も、マニュアルの周知と訓練を徹底しておこなってまいります。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、避難訓練は年間計画を立てて児童も参加して定期的に実施しております。	今後も業務継続計画(BCP)を策定するとともに、定期的な訓練をおこなってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントやモニタリングの時に担当者が確認をおこない、把握しております。	今後もアセスメントやモニタリングの時に担当者が確認をおこない、把握に努めてまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、必要場合は対応しております。	今後も、アレルギーに関して保護者様と情報共有をおこない、全職員に周知し、事故のないよう努めてまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		救命法講習などを受講し、全職員が適切に対応できる体制をとっております。	今後も救命法講習など必要な研修を受講し、全職員が適切に対応できる体制をとっております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		保護者引き渡しカードを作成し、安全に引き渡しが出来る様に引き渡しカードの使用の説明をおこなっております。	今後も引き渡しカードについて保護者様にご説明を尽くし、連携を図ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事案が発生した場合にはヒヤリハット報告書の作成、保管をおこない、再発防止に努めております。	今後も、ヒヤリハット報告書の作成をおこない、事故の再発防止と未然防止に努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		事業所内で虐待防止についての研修をおこなっております。	今後も、事業所内で職員研修を実施し、虐待防止に努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		やむを得ず拘束が必要となる場合には、事前に保護者様の同意を得て、かつ支援計画にも明確に記載し、保護者様の同意を得ております。	今後も、原則として身体拘束をおこなわない基本姿勢を大切に、しやむを得ず必要となる場合には、事前に保護者様の同意を得て、かつ支援計画にも明確に記載してまいります。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。